

高橋石霞 たかはし いせ 醫學者。文化五年十一月十四日滿後國府中生れ、明治十六年九月七日歿（一八一三）。講義寺、宇成と、通稱平八郎、半右衛門。安藝國竹原の忠海屋高橋家を継いだ、和田氏の出。嘉永二年庄屋、更に町年寄となる。その間、藩政に對し建言、また農兵、學制に關しても度々建言を提出した。後年は學問に打ち込み、醫術書多數著述。最晩年の一書は『幽權錄』（明治十六年二月廣島・自刊）。

